

営農ウィークリーNEWS

JA 全農京都

新採用職員 JA 研修報告会を開催

4月23日、当 JA 神足支店会議室で、全農京都府本部の新採用職員 3 名による、研修報告会が開催されました。

同研修は、農業を取り巻く環境や、JA の経済事業・生産現場を把握し、JA グループの一員であることを自覚し、生産者と消費者を結ぶ懸け橋機能を発揮することを目的に行われています。

4月8日から約2週間、同新採用職員 3 名を当 JA で研修生として受け入れ、管内の生産者宅への配達業務や、農作業の応援、経済センターでの購買店舗業務、大原野事業センターでの水稻苗の播種から育苗作業など、幅広い業務に携わり、経済事業への理解を深めていただきました。

報告会には、全農京都、当 JA 役職員の 11 名が参加しました。

報告の中で“土づくりは原点という言葉は、仕事をする職場環境にもあてはまる”や“JA 職員が敬意をもって生産者と接し、距離感の近さを感じうらやましく思えた”、“自然と向き合いながら、農業経営に勤しむ姿に敬意を感じた”など、初めて経験した研修内容に対する、新鮮な感想を聞くことができました。



全農京都府本部でも、頑張ってください！！今後の活躍を期待しています！！



—TAC information—



【京おくら】新たな育苗技術の検討試験

発芽を確認

4月上旬、営農販売課では、「京おくら」の新たな栽培法として、水分コントロールが容易にできる特殊な「固化培土」を使用する、育苗試験を開始しました。

育苗することで、直播によるリスクを軽減し、昨期がコントロールできるため、安定生産を目指すことができます。

昨年も同様の試験を行いました。覆土などの問題でうまくいきませんでしたが、今年は覆土量を調節し、先日発芽を確認しました。

今後は、育苗管理を行い、5月上旬に定植、栽培過程で実証していきます。



病害虫発生予察情報が発表されました。 ご注意ください。

関係各位

京都府病害虫防除所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。

病害虫発生予報第3号（5月）

予報の概要

作物名	病害虫名	予想発生量 ＜平年比（前年比）＞	作物名	病害虫名	予想発生量 ＜平年比（前年比）＞
イ ネ	ヒメトビウンカ 縞葉枯病 イネミズゾウムシ	並(並) 並 並(並)	チ ャ	チャノホソガ カンザワハダニ クワシロカイ ガラムシ	山城:やや少(並) 丹波:やや少(並) 丹後: <u>やや多</u> (やや少) 山城: <u>やや多</u> (やや多) 丹波: 並(並) 丹後: 並(並) 山城: <u>やや多</u> (多) 丹波: 並(やや多) 丹後: 並(並)
ナ シ	黒斑病 黒星病	並(少) <u>やや多</u> (やや多)			
カ キ	炭疽病	並(並)			
チ ャ	炭疽病 もち病 チャノコカク モンハマキ	山城:やや少(少) 丹波: <u>多</u> (並) 丹後: 並(やや少) 山城: 並(並) 丹波: 並(並) 丹後: 並(並) 山城: <u>やや多</u> (やや多) 丹波: <u>多</u> (多) 丹後: <u>やや多</u> (やや多)	野菜類	アブラムシ類	<u>やや多</u> (並)
			キャベツ	菌核病	並(並)
			アブラナ科 野菜	コナガ	<u>やや多</u> (やや多)
			ネ ギ	さび病 ネギハモグリバエ ネギアザミウマ	並(やや少) 並(多) やや少 (並)

※平年とは過去10年の平均である。

目 次

予報の概要	1
予報本文	2
今後注意すべきその他の 病害虫等	10
参考	
Ⅰ 近畿地方の気象の 1か月予報	12
Ⅱ 用語の定義	12
Ⅲ 予報本文の見方	13

農作物病害虫情報
サービスホームページ
<https://www.pref.kyoto.jp/bvogai/>



病害虫予察情報等メール
サービス
<https://www.pref.kyoto.jp/bojoshho/mailservice/mailservice.html>

